

シンポジウムの種

第1号 6月14日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2022年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TEL 022-277-6166

多 様 性 と

～全ての人に開かれた博物館を目指して～

博 物 館

一般の方も参加可能
(要事前申込) です！

日時：2022年7月23日

主催：宮城学院女子大学学芸員課程

時間：13:00～16:00

お招きする博物館：仙台文学館

会場：宮城学院女子大学大学講堂

仙台市縄文の森広場

仙台市歴史民俗資料館

～2022年度シンポジウム実行委員活動班を紹介します！～

実行委員長：松本佳澄 副実行委員長：小野寺智子

運営部

県内外 20 の博物館への取材をもとに、当日の学生発表を担当する部です。発表に必要な資料を作成する資料班と、資料をもとに原稿を作成し当日発表する発表班があります。【チーフ：松本佳澄、小野寺智子】

広報部

シンポジウムの広報活動を担当する部です。ポスターチラシ作成担当のポスターチラシ班、『シンポジウムの種』作成担当のシンポジウムの種班、学外への情報発信を担当するメディア班に分かれています。【チーフ：佐藤成恵、松本ひかり】

記録部

運営部と広報部の活動様子の記録と報告を担当する部です。シンポジウムの種に掲載する博物館実習の様子の撮影も担当しています。活動報告書の作成もしており、皆の情報共有に努めています。【チーフ：佐藤しずく】



実行委員長
松本佳澄

近年、様々な要因で社会が変化している中、社会教育機関である博物館施設も社会ニーズに応えるため、変化を求められているのではないかと考えました。そこで今回は、ユニバーサルデザインとデジタル化を主軸に「多様性と博物館」というテーマを掲げ、活動をすることにしました。すべての人に開かれた博物館施設を目指すために、館が行っている取り組みや、抱える問題などについて知り、博物館施設への理解が深まるようなシンポジウムを目指していきたいと思います。

仙台文学館

仙台文学館は1999年3月に開館。仙台市や宮城県にゆかりのある文学者の作品や、関連資料を収集・保存し、調査研究や展示を行う。常設展示では近代文学資料を次世代に伝え、文学の普及に携わっている。現在特別展では「椎名誠 旅する文学館」を開催している。



仙台文学館学芸室長
渡部直子様

1997年、文学館開館準備室に配属。開館（1999年）後は仙台文学館学芸員として、資料調査のほか、展示や事業の企画、運営などに携わる。

仙台文学館は昨年春から、コロナ禍により来館が難しくなった方々の声を受け、YouTubeにて「せんだい Tube」での動画配信を行なっています。動画配信の取り組みについて、パネラーの渡部直子様にお話を伺いました。

「仙台文学館・ことばの杜をあるこう」や「うちでうたおう 杜の都にひびけ『荒城の月 市民大合唱』」の動画をYouTubeで発信されています。動画を作成する際にどのような点を重視されましたか？



実行委員

動画制作への思い



学芸室長
渡部直子様

この動画を誰に届けたいか、何を伝えたいかを明確にする事を心掛けています。「仙台文学館・ことばの杜をあるこう」は、コロナ禍で当館に足を運ぶことができない方に、当館を知っていただくと考えて制作。ポイントを絞り、内容を詰め込みすぎないよう気を付けました。「杜の都にひびけ『荒城の月 市民大合唱』」は、毎年約200名が参加する人気の合唱イベントで、休止を惜しむ声が多く寄せられました。その思いに応えるべく、再開の願いも込めて制作しました。

講義館 6階 C609 教室にて写真展開催中！



編集後記

今年もシンポジウムに向けて活動が始まり、今回は準備号に続く第一号です。各班、不慣れな中で奔走しています。今回は活動班の紹介と役割、当日お越しになる博物館の紹介です。今回のシンポジウムのテーマは「多様性」です。テーマと関連した質問を事前に博物館の方に質問し、その回答をこちらに載せていきます。ぜひ見てみてください。写真展も開催しているので、そちらにもぜひ足を運んでみてください！最後になりますが、次号でも皆さんに学芸員課程の情報を分かりやすくお伝えしていくので、二年生は来期の参考に、一年生はどんなことをするのかを知るのに役立ててもらったと思います。（佐藤）